

【資料2】

# 第1回 平和に貢献する万国津梁会議の 委員意見整理 【第2回会議資料】



2025年(令和7年)2月10日

## 第1回 恒久平和に貢献する万国津梁会議における委員意見整理①（発言委員順）

	秋山委員	長委員	北上田副委員長	畠山委員	比嘉委員	山根委員	村田委員長
方向性		【平和発信】(県平和祈念資料館の外国人入館率を踏まえ)先の大戦で被害を受け、基地を抱える沖縄の情報発信	平和とは、県民のイメージは直接的な暴力(戦争)がないこと。狭義と広義の平和の擦り合わせ必要			市民・若者の対話と交流により、戦争を回避する活動	国内外紛争の要素を早期に除去する必要性
次世代継承	若者における基地問題に対する諦めの傾向がある中で、沖縄戦と基地問題の若者への継承の取組強化  平和継承における「地域」の重要性、学校、資料館の連携の必要性		小中高校における平和カリキュラムの整備  平和教育の課題(年度当初に集中、教員の習熟度、平和教育の手引き)  養成講座を受けた若者の活躍(受け皿)の場の提供  県内の戦跡の保存・公開に向けた取組	異文化との共同生活による関係構築	地域と連携した平和継承の促進(地域の人々、地域の歴史の専門家等)  次世代継承における立場を意識することの重要性(県外・県内、戦争被害者の意識と受け手の立場の尊重等)		共創を進めていくうえで、若者を中心としたイニシアティブが必要  若者を中心とした具体的な施策(高校生平和大使、若者による政策会議、琉球文化を平和構築の象徴として活用、国際会議の拠点形成、国際インターンシップ、デジタルツールを活用した交流等)
ネットワーク			市民団体との連携における県の積極的なリーダーシップが必要	国際交流により沖縄が世界からどのように見られているか把握する必要性		平和博物館の活用による異文化の相互交流(例:県内外の学生が共同研修する事業の核保有国博物館との連携等)	行政の限界を補完するためにNGO等との連携が必要
人間の安全保障		県内問題への「人間の安全保障」としての位置づけ	県内における多文化が共生できる環境の整備	世界では平和とは言えない中で沖縄がどのように恒久平和を目指していくのか世界と組み合わせる必要  気候変動問題			SDGsの推進  バランスのとれた社会インフラと生活基盤を強固にする必要性  災害対応

## 第1回 恒久平和に貢献する万国津梁会議における委員意見整理②（分類別） ※委員敬称略

戦争・紛争のない状態 (狭義の平和)	人間の安全保障が確立された状態 (広義の平和・貧困、暴力、人権の抑圧、差別、 環境破壊等がない安らかで豊かな状態)
【北】平和とは、県民のイメージは直接的な暴力(戦争)がないこと。狭義と広義の平和の擦り合わせ必要	
【村】国内外紛争の要素を早期に除去する必要性	
【山】市民・若者の対話と交流により、戦争を回避する活動	【村】SDGsの推進
	【長】県内問題への「人間の安全保障」としての位置づけ
	【村】災害対応
	【島】気候変動問題
	【村】バランスのとれた社会インフラと生活基盤を強固にする必要性
	【北】県内における多文化が共生できる環境の整備

次世代継承・平和教育の充実	ネットワーク構築・団体連携	平和発信
【秋、比】平和継承における「地域」の重要性、学校、資料館の連携の必要性	【北】市民団体との連携における県の積極的なリーダーシップが必要	【長】(県平和祈念資料館の外国人入館率を踏まえ)先の大戦で被害を受け、基地を抱える沖縄の情報発信
【秋】若者における基地問題に対する諦めの傾向がある中で、沖縄戦と基地問題の若者への継承の取組強化	【島】異文化との共同生活による関係構築	
【北】平和教育の課題、小中高校平和カリキュラムの整備	【島】国際交流により沖縄が世界からどのように見られているか把握する必要性	
【北】養成講座を受けた若者の活躍(受け皿)の場の提供	【島】世界では平和とは言えない中で沖縄がどのように恒久平和を目指していくのか世界とかみ合わせる必要性	
【北】県内の戦跡の保存・公開に向けた取組	【山】平和博物館の活用による異文化の相互交流	
【比】次世代継承における立場を意識することの重要性	【村】行政の限界を補完するためにNGO等との連携が必要	
【村】若者を中心としたイニシアティブ(政策提言、平和大使等)		

# 第1回 恒久平和に貢献する万国津梁会議における委員意見整理③ (イメージ図)

## 将来像

【広義の平和】人間の安全保障(貧困、暴力、人権の抑圧、差別、環境破壊等がない状態)

【狭義の平和】戦争・紛争のない状態

①次世代継承・平和教育の充実

②ネットワーク構築・団体連携

③平和発信

戦争・紛争に至る要素を早期に除去する取組(人間の安全保障の確立)

①SDGsの推進

②多文化共生社会の推進

③社会インフラ整備、災害対応、  
環境保全等

## 提言の中心となる柱の設定(他ビジョン参考)

### 【沖縄県】 沖縄 21世紀ビジョン (目指すべき将来像)

- (1) 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
- (2) 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
- (3) 希望と活力にあふれる豊かな島
- (4) 世界に開かれた交流と共生の島
- (5) 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

### 【平和首長会議】 持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン

- A 核兵器のない世界の実現
- B 安全で活力のある都市の実現
- C 平和文化の振興

他のビジョン等を参考にすると、ビジョンの中心となる柱を複数設定し、同柱を中心として、目指す将来像を簡潔にまとめることで、メッセージ性を高めている。

## 提言に向けた骨子(案)

### 恒久平和に貢献する万国津梁会議の提言・骨子(案)

#### 1 戦争・紛争がない社会構築への貢献(狭義の平和への貢献)

平和意識の醸成、国内外のネットワーク構築、平和発信に取り組み、紛争や緊張状態に対して対話と外交努力による平和的な解決を促していくなど、平和構築に貢献する。

【方策1】 次世代継承・平和教育の充実(沖縄戦等の継承)

【方策2】 ネットワーク構築(国内外の団体、平和博物館、NGO、市民団体等)

【方策3】 平和発信(世界の状況を踏まえた平和発信)

#### 2 「人間の安全保障」への貢献(広義の平和への貢献)

貧困、暴力、人権の抑圧、差別、環境破壊等がなく、安らかで豊かな社会、誰一人取り残すことのない社会を構築することで、戦争・紛争に至る要素を早期に除去する。

【方策1】 SDGsの推進

【方策2】 多文化共生社会の構築

【方策3】 社会インフラ整備、災害対応、環境保全等